

健康経営認定の有無と従業員の健康状態に関する研究

研究計画書（第 2 版） 作成日：2026 年 7 月 31 日

研究登録番号：2602

倫理委員会承認日： 2026 年 7 月 7 日

研究責任者： 岡本高宏

ミラザ新宿つるかめクリニック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-36-10 ミラザ新宿 7 階

電話番号：03-6300-0063

e-mail: okamototakahiro@tsurukamekai.jp

1. 研究の背景と実施の意義

（1）研究の背景

近年、従業員の健康管理を経営的視点で捉え、戦略的に実践する「健康経営」が注目されている [1]。従業員の健康を守り、その家族を含めた Well-being に資することを重要な使命とする企業文化の広まりは社会の進化とも言える [2]。さらに健康問題による生産性低下（出社はしているが十分に働けない：Presenteeism）が医療費や欠勤を上回る経済損失を招く可能性も指摘されており、経営に直結する課題として認識されつつある [3-4]。経済産業省と日本健康会議は、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営銘柄」および「健康経営優良法人（大規模法人部門・中小規模法人部門）」の認定制度を推進している [5-6]。「健康経営銘柄 2026」は 28 業種 44 社が認定され、「健康経営優良法人」は 2026 年 5 月の時点で大規模法人部門が 3,765 法人、中小規模法人部門が 23,085 法人認定され、中小規模法人部門の認定数が飛躍的に伸びており、地域の中小企業における健康経営の浸透が加速していることが伺える。

認定基準には、定期健診受診率の向上や特定保健指導の実施、適切な働き方の実現など、プロセス指標が多く含まれている。しかし、これらの認定を受けている企業の従業員が、非認定企業の従業員と比較して、実際に健診結果（血圧、脂質、血糖等）や、健診後の受診行動（二次検査受診率等）において統計的に有意に良好な数値を維持しているかについては、単一の医療機関のデータを用いた実証的な比較研究はまだ十分ではない。

（2）研究の意義

ミラザ新宿つるかめクリニックは多くの契約企業の健診を担っており、認定企業と非認定企業双方の受診者データを有している。これらを後ろ向きに解析し、その差を明らかにすることには以下の意義がある。

- 健康経営施策の有効性検証：認定制度が目指す「従業員の健康増進」が、実際の健診数値として現れているかを検証できる。
- 産業保健のエビデンス構築：健康経営の推進が、個人の健康状態にどのようなインパクトを与えるかという臨床疫学的エビデンスを提示できる。

2. 研究の目的

健康経営認定企業（健康経営銘柄・健康経営優良法人）に所属する受診者と、それ以外の企業に所属する受診者の間で、健診結果および健診後の健康行動に差があるかを明らかにする。

- 対象：ミラザ新宿つるかめクリニックで健康診断（人間ドックを含む）を受けた契約企業の従業員
- 曝露群：2025年度「健康経営銘柄」または「健康経営優良法人」認定企業
- 対照群：上記認定を受けていない契約企業
- アウトカム：重要業績評価指標（Key Performance Indicator, KPI）
 - ◇ 身体計測（BMI、腹囲）および血圧値
 - ◇ 検査結果（LDL コレステロール、HbA1c 等）の異常値出現率
 - ◇ 問診票による生活習慣（喫煙習慣、運動習慣、睡眠の質）の充足率

3. 研究対象者（対象患者）

2025年4月1日から2026年3月31日までの間に、ミラザ新宿つるかめクリニックで健康診断（ドック含む）を受けた契約企業の受診者。

4. 研究対象者から同意を得る方法

本研究は後ろ向き観察研究であり、書面による同意取得は行わない。しかし対象者の研究参加拒否の機会を確保するため、研究実施に関する情報公開文書をホームページに掲載し、オプトアウトの機会を提供する。

5. 研究の方法

5-1. 研究の種類

後ろ向き観察研究（介入や侵襲を伴わない）

5-2. 研究対象者の症例登録期間

2025年4月1日から2026年3月31日までとする。

5-3. 症例登録、資料や情報の収集方法

電子カルテおよび健診システムを参照して以下の情報を取得する。

- 基本情報：年齢、性、企業名（認定有無の照合用）
- 健診結果：身長、体重、BMI、腹囲、血圧（2回測定値）、
- 血液検査結果：血算、中性脂肪、HDL/LDL コレステロール、総コレステロール、空腹時血糖、HbA1c、AST/ALT/γ-GTP、クレアチニン、eGFR、尿酸、尿一般（蛋白、潜血、糖）
- 胸部レントゲン検査判定、心電図検査判定、呼吸機能検査判定
- 内科診察所見
- 問診データ：基本問診票、特定保健問診票に記載された項目

抽出したデータは、企業名および個人名を匿名化し、連結不可能匿名化を行う。

5-4. 実施手順・方法

アウトカムごとに以下の方法で解析する。

- ① 健診項目の比較：認定企業群と非認定企業群の各数値平均および異常値率を、 t 検定またはカイニ乗検定で比較する。
- ② 生活習慣の比較：問診票の回答結果に基づき、良好な生活習慣を持つ者の割合を比較する。
- ③ 二次検査受診率の解析：判定後のフォローアップ状況を記述統計で算出する。
- ④ 関連因子の解析：年齢・性別を調整変数としたロジスティック回帰分析を行い、認定の有無が健康状態に与える独立した関連性を検討する。

5-5. 試料・情報の保管

研究期間中また終了後はミラザ新宿つかめクリニック共用のファイルサーバー上で情報の保管を行う。解析は、完全に匿名化したデータファイルを用いて研究責任者のパスワード保護されたパソコンにおいて実施する。

6. 研究機関の長への報告と方法

研究継続時は毎年実施状況報告書を作成する。また研究終了時は研究結果報告書を作成する。

7. 研究実施期間

倫理委員会による承認後から 2027 年 12 月 31 日までとする。

8. 研究対象者への配慮

本研究の実施によって対象者に新たな危険や不利益は生じない。

9. 研究対象者への費用負担や謝礼

対象者に費用負担はない。また対象者への謝礼もない。

10. 個人情報の取り扱い

取得した個人情報は匿名化したうえでパスワード・ロックしたファイル内に保管する。研究成果発表の際にはプライバシー上の不利益が生じないよう、個人および企業を特定できない状態であることを確認したうえで公表を行う。

11. 研究に関する情報公開

研究成果の公表は、日本総合健診医学会等の学術集会、あるいは関連する医学雑誌への投稿により行う。

1 2. 研究の実施体制、相談への対応

- 【実施体制】 研究責任者：岡本高宏
- 【相談への対応】 研究責任者への問い合わせで対応する。
- o 窓口：ミラザ新宿つるかめクリニック（電話 03-6300-0063）

1 3. 研究資金および利益相反

本研究は特定の企業からの資金供与を受けない。本研究における利益相反はない。

参考資料：

1. 厚生労働省保険局. 「データヘルス・健康経営を推進するためのコラボヘルス・ガイドライン」(平成 29 年 7 月)
2. 高橋由香、津野陽子、大森純子. 健康経営における「職場における健康文化」に関する評価指標の検討. 産衛誌 2022;64(5):225-237.
3. Nagata T, Mori K, Ohtani M, et al. Total Health-Related Costs Due to Absenteeism, Presenteeism, and Medical and Pharmaceutical Expenses in Japanese Employers. J Occup Environ Med 2018;60(5):e273-e280.
4. 西賢一郎. 健康経営 -科学的根拠を踏まえた基礎知識. 産業・組織心理研究 2024;38(1):75-87.
5. 経済産業省：健康経営優良法人認定制度.
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html
6. 日本健康会議：<https://2025.kenkokaigi.jp/news/n050>